

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場会社名 トレイダーズホールディングス株式会社
 コード番号 8704 URL <http://www.tradershd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月2日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 金丸 勲
 (氏名) 新妻 正幸

TEL 03-4330-4700

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,385	△11.8	1,381	△11.8	137	—	90	—	106	—
24年3月期第2四半期	1,570	△19.4	1,566	△17.8	△321	—	△348	—	△468	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 107百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △472百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	240.54	—
24年3月期第2四半期	△1,962.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,597	529	4.2
24年3月期	14,166	424	2.9

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 524百万円 24年3月期 417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00			
25年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成25年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,330	△22.2	300	—	260	—	230	—	517.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	444,358 株	24年3月期	444,358 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	144 株	24年3月期	144 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	444,214 株	24年3月期2Q	238,560 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として国内需要が堅調に推移し、持ち直しの動きが見られたものの、世界景気に減速感が広がったことから、回復の動きに足踏みがみられ、先行き不透明な状況が続きました。個人消費は、エコカー補助金等の政策効果が下支えするなかで緩やかな増加傾向もみられましたが、おおむね横ばいで推移しました。

外国為替市場におきましては、ギリシャに始まり南欧諸国へ波及した欧州債務危機の影響が、ユーロ圏で最も財政が健全なドイツにまで波及し、ユーロ圏全体に景気後退が拡大する恐れが出てきたことから、円はユーロに対し、7月24日に1ユーロ=94円11銭と今年最高値を更新しました。その後、欧州中央銀行が南欧国債の購入再開、さらには、南欧国債の無制限購入の方針を発表し問題の鎮静化を図ったことでユーロが値を戻し、当第2四半期末は1ユーロ=100円16銭で終了しました。一方、米ドル/円相場は、米国及び中国の景気減速が鮮明になり、世界経済の先行きに不透明感が増したことで、7月から9月初旬にかけて緩やかな円高が進み、1米ドル78円台から79円台で推移していましたが、米国の雇用回復が遅れていることを背景に、米連邦準備制度理事会が9月13日に3度目の大規模な量的緩和に踏み切ると、1米ドル=77円11銭の今年最高値をつけた後、当第2四半期末は1米ドル=77円90銭で終了しました。

このような市場環境のもと、当社グループは、子会社トレイダーズ証券株式会社(以下「トレイダーズ証券」といいます。)において、本年6月で5周年を迎えた『みんなのFX』(外国為替証拠金取引サービス)、8月で1周年を迎えた『みんなのバイナリー』(外国為替オプション取引サービス)を主軸事業として、収益の拡大を図ってまいりました。『みんなのFX』においては、お客様の取引拡大のため「5周年記念キャンペーン」で実施した米ドル/円のスプレッド0.3銭での提供を延長するとともに、「ラーメン&ライス」プレゼント等のキャンペーンを実施いたしました。また、『みんなのバイナリー』においては、バイナリーオプションの商品性を多くのお客様に知っていただくため、「みんなのバイナリーおためしキャンペーン」やデモ取引等を展開し、集客・取引量の拡大を図ってまいりました。これらの施策により、外国為替の変動率が極めて低い相場環境においても、収益の減少を最小限にとどめることができました。一方、費用面では、不採算事業となっていた日経225先物取引事業からの撤退を完了したことで、システム関係費用、事務処理費用等の固定費の大幅な削減を達成するとともに、前期に引き続き人員・設備・事務処理における広範な合理化を推進し、更なるコスト削減に取り組んでまいりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、証券取引事業の整理・縮小により受入手数料が25,701千円(前年同期比76.6%減)に減少したものの、個人投資家のレバレッジ上限の引下げ(平成23年8月より50倍から25倍に引下げ)のあった外国為替トレーディング損益は、前年同期比88,834千円減少の1,356,660千円(前年同期比6.1%減)とわずかな減少にとどまり、営業収益合計は1,385,186千円(前年同期比11.8%減)となりました。

一方、同期間の営業費用は、証券取引事業の整理・縮小に伴い、金融商品仲介業者への支払手数料の減少、日経225先物取引の母店手数料の減少、各種通信費の減少等により取引関係費は341,432千円(前年同期比32.2%減)に減少、証券取引の事務処理システム費の大幅削減により事務委託費は7,645千円(前年同期比84.0%減)に減少、前期に証券事業関連資産を減損したことで減価償却費は37,110千円(前年同期比61.5%減)に減少するなど、証券取引事業の関連費が大きく減少しました。また、外国為替取引システム利用料は収益に連動するレベニューシェアであるため、前年同期と比べ収益に大きな変動がなかったことで大きな減少はなかったものの、サーバー保守体制の再構築及び日経225先物取引システムに関連するシステム保守料等の削減により器具備品費(不動産関係費)は486,717千円(前年同期比27.4%減)に減少、前期の当社移転による事務所家賃の削減により不動産費(不動産関係費)は39,261千円(前年同期比51.5%減)に減少、人員合理化により人件費は305,952千円(前年同期比33.7%減)に減少した結果、販売費及び一般管理費は1,244,293千円(前年同期比34.1%減)となり、前年同期に比べ約7割弱の水準まで削減することができました。

営業外損益については、資金調達に要したフィナンシャルアドバイザー報酬及び各種調査費、弁護士報酬等の費用を営業外費用に資金調達費用として26,495千円計上しました。特別損益については、金融商品取引責任準備金の算定基準となる証券先物取引売買高が大きく減少したことで積立必要額が減少し、特別利益に金融商品取引責任準備金戻入益18,377千円を計上しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、営業利益137,383千円、経常利益90,323千円、四半期純利益106,849千円の利益を計上しました。

なお、外国為替取引事業の営業収益及び当四半期末における顧客口座数、預り資産は以下のとおりとなりました。
外国為替取引事業 営業収益 1,366,713千円 顧客口座数 203,225口座 預り資産 13,104,673千円

(注) 顧客口座数は、第1四半期連結累計期間より集計方法を変更し申込口座数を記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して1,569,321千円減少し、12,597,155千円となりました。これは主に、平成24年4月に日経225先物取引事業を譲渡したため先物取引差入証拠金が1,047,406千円減少したこと、外国為替取引にかかる分別金信託額等が減少したことで預託金が545,420千円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,675,199千円減少し、12,067,189千円となりました。これは主に、日経225先物取引事業を譲渡したため先物取引受入証拠金が1,037,323千円減少したこと、外国為替受入証拠金が424,239千円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して105,878千円増加し、529,965千円となりました。これは主に、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益が106,849千円となったことによるものです。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、営業活動により52,995千円減少、投資活動により266,503千円増加、財務活動により165,051千円減少しました。この結果、資金は、前連結会計年度末と比較して48,453千円増加し418,453千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況およびこれらの要因は、以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、52,995千円の支出超過となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上による108,164千円および減価償却費の計上による37,110千円の資金増加に対して、短期差入保証金の増加による136,947千円の減少及び事業整理損失による支出46,533千円の資金減少があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、266,503千円の収入超過となりました。これは主に、ソフトウェア開発費用63,000千円の支出による資金減少があった一方、定期預金300,000千円の払戻しによる資金増加があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、165,051千円の支出超過となりました。これは主に、短期借入金の減少105,000千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出69,323千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日に公表いたしました平成25年3月期通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	670,000	418,453
預託金	10,890,420	10,345,000
顧客分別金信託	10,888,000	10,343,000
その他の預託金	2,420	2,000
トレーディング商品	11,815	105,403
短期差入保証金	1,980,209	1,069,750
先物取引差入証拠金	1,047,406	—
外国為替差入証拠金	925,802	1,064,750
その他の差入保証金	7,000	5,000
その他	176,967	85,963
貸倒引当金	△12	△54
流動資産計	13,729,400	12,024,515
固定資産		
有形固定資産	72,125	182,606
建物(純額)	26,393	23,525
器具備品(純額)	39,649	31,493
車両運搬具(純額)	3,460	2,739
リース資産(純額)	2,621	124,847
無形固定資産	67,396	121,055
ソフトウェア	56,352	47,010
その他	11,044	74,044
投資その他の資産	297,552	268,977
投資有価証券	194,583	188,144
長期立替金	744,140	611,998
その他	159,466	139,636
貸倒引当金	△800,638	△670,800
固定資産計	437,075	572,639
資産合計	14,166,476	12,597,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	12,678	—
預り金	173,395	102,024
顧客からの預り金	162,249	93,007
その他の預り金	11,145	9,016
受入保証金	12,306,533	10,844,969
先物取引受入証拠金	1,037,323	—
外国為替受入証拠金	11,269,209	10,844,969
短期借入金	532,100	438,150
リース債務	127,895	108,430
未払法人税等	9,726	6,743
その他	274,382	202,331
流動負債計	13,436,711	11,702,650
固定負債		
長期借入金	227,900	226,121
退職給付引当金	13,504	12,725
リース債務	3,196	87,684
その他	10,335	5,642
固定負債計	254,935	332,174
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	50,741	32,364
特別法上の準備金計	50,741	32,364
負債合計	13,742,389	12,067,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,020,186	3,020,186
資本剰余金	2,287,078	2,287,078
利益剰余金	△4,915,673	△4,808,823
自己株式	△3,148	△3,148
株主資本合計	388,443	495,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,274	29,638
その他の包括利益累計額合計	29,274	29,638
新株予約権	6,369	5,033
純資産合計	424,087	529,965
負債・純資産合計	14,166,476	12,597,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益		
受入手数料	109,856	25,701
トレーディング損益	1,445,495	1,356,660
金融収益	4,653	2,075
その他	10,962	749
営業収益計	1,570,968	1,385,186
金融費用	4,594	3,509
純営業収益	1,566,373	1,381,677
販売費及び一般管理費		
取引関係費	503,923	341,432
人件費	461,645	305,952
不動産関係費	751,863	525,979
事務費	52,722	10,145
減価償却費	96,486	37,110
租税公課	16,279	14,696
その他	5,039	8,975
販売費及び一般管理費合計	1,887,960	1,244,293
営業利益又は営業損失(△)	△321,587	137,383
営業外収益		
受取利息及び配当金	519	107
未払配当金除斥益	906	—
還付加算金	151	396
受取補償金	—	300
その他	567	417
営業外収益合計	2,145	1,220
営業外費用		
支払利息	17,509	16,389
投資事業組合運用損	7,832	1,948
為替差損	3,358	2,021
資金調達費用	—	26,495
その他	442	1,425
営業外費用合計	29,143	48,280
経常利益又は経常損失(△)	△348,584	90,323
特別利益		
受取補償金	13,375	—
金融商品取引責任準備金戻入	12,577	18,377
その他	5,451	1,335
特別利益計	31,403	19,713
特別損失		
固定資産除却損	—	1,727
事業整理損	84,666	2
減損損失	35,910	—
本社移転費用	28,171	—
その他	267	143
特別損失計	149,015	1,872
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△466,196	108,164
法人税、住民税及び事業税	1,875	1,314
法人税等合計	1,875	1,314
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△468,071	106,849
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△468,071	106,849

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△468,071	106,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,341	364
為替換算調整勘定	△326	—
その他の包括利益合計	△4,668	364
四半期包括利益	△472,739	107,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△472,739	107,214

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△466,196	108,164
減価償却費	96,486	37,110
固定資産除却損	—	1,727
減損損失	35,910	—
事業整理損失	84,666	—
移転費用	28,171	—
受取補償金	△13,375	—
その他の特別損益(△は益)	△4,951	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,272	△21,374
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△12,577	△18,377
受取利息及び受取配当金	△519	△107
支払利息	17,509	16,389
トレーディング商品の増減額	△120,885	△106,265
顧客分別金信託の増減額(△は増加)	△197,000	545,000
立替金の増減額(△は増加)	143,712	23,771
信用取引資産の増減額(△は増加)	297,809	—
短期差入保証金の増減額(△は増加)	1,027,068	△136,947
信用取引負債の増減額(△は減少)	△296,153	—
預り金及び受入保証金の増減額(△は減少)	△412,629	△495,610
その他	△24,697	61,196
小計	188,619	14,678
利息及び配当金の受取額	537	107
利息の支払額	△19,196	△11,158
法人税等の支払額	△3,955	△3,679
事業整理損失の支払額	△15,862	△46,533
その他	△6,830	△6,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	143,312	△52,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,276	△2,139
無形固定資産の取得による支出	△76,964	△63,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	9,642	—
事業譲渡による収入	—	20,626
定期預金の払戻による収入	—	300,000
その他	△1,250	11,017
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,849	266,503
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△66,000	△105,000
長期借入れによる収入	—	20,000
長期借入金の返済による支出	△15,400	△10,727
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△61,716	△69,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,116	△165,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△320	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69,974	48,457
現金及び現金同等物の期首残高	511,891	370,000
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△4
現金及び現金同等物の四半期末残高	441,917	418,453

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。